

## 1 2月定例連絡委員幹事会

※会議議題関係部分のみ記録

日 時：令和5年12月5日（火）午後3時から

場 所：市役所2階 会議室1

出席者：連絡委員正副幹事12名

：事務局4名

：議題説明者3名

傍聴者：1名

### 会議内容

- 1 市民憲章唱和（副代表幹事）
- 2 代表幹事あいさつ
- 3 議題

- (1) 令和6年度健康推進員の推薦について（依頼）（健康課）

正副幹事：健康推進員が各地区で行っていた健康に関する教室等をやる必要がないということか。研修会に関しては、市が主催する研修会に参加するというのでよいか。また、研修会は希望制だったものが、何人出すという形に変わるというのが大きな変更点となるのか。

説明者：お見込みのとおり。ただ、これまでの活動はなくなるが、市の健康推進事業への協力ということで、市の防災訓練や地区での公民館まつりなどに健康課としてブースを出す場合には協力をお願いしたい。

正副幹事：3月15日までに人選し、そこから代表を決めるというのは日程的に難しい。

説明者：一応、期限はこうなっているが、地区によって決まらないという場合は連絡をもらったうえで、決まってから報告という形で問題ない。

正副幹事：来年度からは、健康推進員というものがなくなって、新たな組織となってやっていくということだね。今までとは全然違うと。

説明者：やることは全然変わると考えている。

正副幹事：今の健康推進委員には伝わっている話か。

説明者：まだ伝えていない。

正副幹事：いつ伝えるのか。

説明者：本日の会議で推薦いただけるということになった後、伝える予定。  
アンケートもとっているため、検討していることは伝わっている。

正副幹事：研修会への出席は必須なのか。

説明者：必須ではないが、参加できる人を推薦してもらいたい。

正副幹事：町内会の中で健康推進員の役割があった。ウォーキングイベントなどはやるなということか。

説明者：地区の活動をやめてくれということではない。アンケートをとって、イベントが負担であるという意見が多かった。市の事業への協力くらいだったらできるという結果だったため、そのような形を検討した。

正副幹事：これまでの行事を継続するとなると、町内会の費用でやるということか。

説明者：継続するというだけでも、健康課から補助金の交付はしない予定。

正副幹事：今回のアンケートの結果を教えてほしい。

説明者：回答者は今年度の健康推進員で、回答率は54.8%。この中で、負担が大きいと回答した人は67.8%。地域でのイベントの企画・運営が負担と回答した人は35.4%。健康推進だよりの発行が負担という人は16.6%。研修会への参加が20.0%。補助金の経理が8%。市の行事への協力が4%という結果である。

正副幹事：その資料をもらうことはできないか。

説明者：可能である。

正副幹事：研修会を夜、開催することはできないか。

説明者：講師の都合もあるので、すべてを夜に開催するのは困難だが、時間や曜日について検討する。

正副幹事：謝礼はいくらを予定しているか。

説明者：金額については、検討中である。

正副幹事：いつ頃決まるか。

説明者：金額は1月、2月頃に提示できれば。できるだけ早くお知らせできるように検討する。

正副幹事：地区によっては、地区の事業として健康推進事業をやっていたため、市の補助金がなくなると困るということ。

それならば、健康推進に関する事業をやりたい地区においては、そのための補助金をだすことはできないか。

説明者：それも検討したが、補助対象となる事業の選別が難しい。地区によって差が出ると、不公平感がでてしまうことが懸念される。

正副幹事：補助対象となる項目を作ればよいのでは。面倒くさいところは申請しない。

また、研修会の時間と回数については再検討してはどうか。

説明者：検討する。

正副幹事：健康推進員は男性でもよい。

説明者：男性でも問題ない。

正副幹事：すでに来年度の健康推進員の人選は済んでいる。これまでどおりの10名を推薦するのはだめか。多すぎると言われると断らなければならない。

正副幹事：研修会に出席する人は、代理でもよいか。ヘルスキーパーはたくさん選んで、研修会には行ける人が行くということでもよいのでは。

説明者：来年はこれまでどおりにしていただき、将来的には徐々に減らしていただくという方法もよいのか思っている。内部で検討したい。

(2) 令和5年度区民館等運営事業補助金実績に関する中間報告書の提出について（依頼）  
（地域協働課）

正副幹事：9月に話しがあった内容か。

説明者：根拠資料が多いため、例年9月に周知し、12月に中間報告の依頼を行っている。